

令和4年度
社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会
事業報告書

(理事会：令和5年6月7日)

(評議員会：令和5年6月23日)

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会

令和4年度事業報告

1. 事業総括

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小、中止が余儀された中で、令和4年度においても基本方針に「誰もが安心して暮らすことのできる町」を掲げ関係機関、地域住民と連携協力し、事業展開を図った。

法人運営事業については、長年子供達の為に本会に浄財を寄せられた寄附金が、一定金額纏まったことで、町内の保育施設、障害者施設に物品を寄贈することができたことは、子供たちの健やかな学びを支える一助に繋がったものと思われる。また、コロナ禍により生活に困難を抱える世帯が増加したことにより、相談件数も増えたことで民生委員と十分に連携しながら、相談者に寄り添い、生活の自立を支援することができた。また、そのような状況下により、包括的な支援体制を構築するための事業受託に向けての協議が思うように進まなかったため、引き続き協議を進めることとする。

地域福祉事業においては、ボランティア活動に対する関心を高めると共に、地域で安心して暮らすことができるように、ほっとバンク協力店、ほっとバンク、ボランティア保険の登録者の増を図り事業を展開することができた。

また、災害時・緊急時に備えてSOSフラッグを活用しての訓練を実施し、地区住民の意識啓発を図ることができた。

介護事業においては、昨年平均で3名を増員し介護の充実を図ったところであるが、全体での介護報酬等はそれほど伸びず、結果的に実質の収支差額で8,300千円の減収となった。本会全体の鍵を握る介護報酬は大きな財源であることから、今後においても安定的な運営が図られるよう職員一丸となり取り組んでいきたい。

2. 主な取り組み

1. 職場環境整備

- (1) 全事業所感染防止対策を徹底、また全体研修会において感染症の勉強会やゾーニングによる周知、事業継続ガイドラインによる平時からの備えや感染症発生時の初動対応、感染拡大防止対策の確立等まで、全職員が迷いなく行動できる体制を整え、感染防止に努めた。
- (2) 職員研修実施要綱を制定し、新任職員研修、専門研修、職場内研修、職員全体研修等研修環境を整え、職員の意欲向上及び定着、スキルアップを図るとともに社協職員としての養成に努めた。
- (3) 介護職員の資格取得支援を実施、雇用している無資格の職員に業務に従事しながら勤務の一部として、介護に関する資格を取得させることにより、介護分野の人材の確保・育成及び定着を図った。
- (4) 意見箱の活用を周知し、発言しやすい環境づくりに努めた。
- (5) 職員個別面談の実施。
- (6) 健康診断の実施及びインフルエンザ予防接種への助成を実施した。

2. 組織体制及び運営基盤の強化

- (1) 係長会議を定期的で開催し、各事業の現状確認や調整等を行うとともに、コロナ禍で事業展開を図る全職員の心身の確認・ケア等、予防・対策に努めた。
- (2) 地域福祉会議にて各事業の運営状況、現状把握・情報共有、方向性等を検討、効率的な事業運営の基盤づくり及び強化に努めた。
- (3) 介護保険事業管理者会議にて各事業所との情報交換及び共有を図り、質の向上と効率的な運営に努めた。
- (4) 諸規程の制定や一部改正を諮り、組織運営の基盤強化を図った。

3. 地域支え合い活動の推進

- (1) 結の里を拠点に結の里運営協議会が中心となり、感染予防対策を徹底しながら、コロナ禍なりの地域交流、世代間交流とコミュニティづくり事業の推進を図った。
- (2) 持続可能な人づくり関係づくりが実現できるよう、後方支援を継続しながら近隣による見守りや支え合い活動を推進した。

4. ボランティア活動の推進

- (1) 共にささえあう地域づくりを推進するため、ほっとバンク(登録者211人)、民生委員・児童委員、町内会などの自治会組織、福祉関係機関、団体等と積極的に連携・協働して地域福祉活動を展開した。
- (2) 地域住民自らがボランティア活動に参加する機会の創出を作り、子どもから高齢者まで「自分に出来る事」でボランティア精神の醸成を図った。

3. 重点事業取り組み

3-1 法人運営事業 総務課総務係

事業全体の経営資源を適切に管理、総合的かつ計画的な事業執行を行うため経営基盤の充実を図り、組織管理、事業運営の基盤づくりに努めた。

地域に開かれた組織として、運営の透明性と中立性、公平さの確保を図るとともに事業展開にあっては住民主体、住民参加をその基本とし取り組んだ。

(1) 理事会開催状況

第1回 理事会	日 時	4年6月7日（火曜日）午後1時30分～午後3時35分
	場 所	総合ケアセンター南三陸 2階 大会議室
	内 容	報告1号：会長の専決事項 報告2号：会長の業務報告 報告3号：監督官庁が実施した検査結果 承認1号：令和3年度事業報告 承認2号：令和3年度一般会計収入支出決算 議案1号：虐待防止対応規程制定 議案2号：虐待防止委員会設置規程制定 議案3号：身体拘束適正化検討委員会設置規程制定 議案4号：令和4年度一般会計収入支出補正予算 議案5号：第1回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理 事	出席：8名 欠席：0
	監 事	出席：2名 欠席：0
第2回 理事会	日 時	4年9月21日（水曜日）午後1時25分～午後2時15分
	場 所	志津川東復興住宅第2集会所
	内 容	報告1号：会長の専決事項 議案1号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案2号：嘱託職員就業規程の一部改正 議案3号：公用車運行管理規程制定 議案4号：職員による自動車事故等の取扱いに関する規程制定
	理 事	出席：7名 欠席：1名
	監 事	出席：2名 欠席：0
第3回 理事会	日 時	5年3月15日（水曜日）午後1時28分～午後3時52分
	場 所	総合ケアセンター南三陸 2階 大会議室
	内 容	報告1号：会長の専決事項 報告2号：会長の業務報告 議案1号：職員給与規程の一部改正 議案2号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案3号：嘱託職員就業規程の一部改正

		議案4号：うたつ指定通所介護事業運営規程の一部改正 議案5号：いりや地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正 議案6号：とぐら地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正 議案7号：しづがわ地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正 議案8号：ハラスメント防止及び対応規程の一部改正 議案8号：南三陸町受託事業に係る運転資金の借入 議案10号：役員等賠償責任保険契約締結 議案11号：令和4年度一般会計収入支出補正予算 議案12号：令和5年度事業計画 議案13号：令和5年度一般会計収入支出予算 議案14号：第2回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理事	出席：8名 欠席：0
	監事	出席：2名 欠席：0

(2) 評議員会開催状況

第1回 評議員会	日時	4年6月22日（水曜日）午後1時28分～午後3時00分
	場所	総合ケアセンター南三陸 2階 大会議室
	内容	報告1号：監督官庁が実施した検査結果 承認1号：令和3年度事業報告 承認2号：令和3年度一般会計収入支出決算 議案1号：令和4年度一般会計収入支出補正予算
	評議員	出席：12名 欠席：4名
	監事	出席：2名 欠席：0
第2回 評議員会	日時	5年3月23日（木曜日）午後1時30分～午後3時08分
	場所	総合ケアセンター南三陸 2階 大会議室
	内容	議案1号：令和4年度一般会計収入支出補正予算 議案2号：令和5年度事業計画 議案3号：令和5年度一般会計収入支出予算
	評議員	出席：13名 欠席：3名
	監事	なし

(3) 監査会開催状況

第1回 監査会	日時	4年5月27日（金曜日）午前9時25分～午前11時20分
	場所	総合ケアセンター南三陸 2階 談話室
	内容	令和3年度事業報告について 令和3年度一般会計収入支出決算について
	理事	出席：1名（代表理事）
	監事	出席：2名 欠席：0

(4) 月別事業

4月

日	内 容	場 所
1	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
6	春の交通安全町民総ぐるみ運動(4/6~15) 出動式	南三陸町役場 駐車場
11	火災見舞い(歌津地区住民)	伊里前復興住宅
14	第1回地域づくりあれこれ	志津川東復興住宅第2集会所
15	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
	正職員会議	志津川東復興住宅第2集会所
18	広報委員会(第1回)	志津川東復興住宅第2集会所
	情報開示閲覧	事務局
20	第1回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
27	南三陸町行政区長会議 (SOS フラッグ説明)	ベイサイドアリーナ交流ホール

5月

日	内 容	場 所
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
10	地域福祉活動計画勉強会	志津川東復興住宅第2集会所
11	キャップハンディ体験会打合せ(戸倉小学校)	事務局
16	南三陸町遺族会監事会	総合ケアセンターいきいきルーム
	南三陸町身体障害者福祉協会監事会	総合ケアセンターいきいきルーム
	老人クラブ市長村連合会長・事務局長合同会議	仙台市
17	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
18	第2回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
23	愛の手をつなぐ親の会監事会	総合ケアセンターいきいきルーム
	南三陸町老人クラブ連合会監事会	総合ケアセンターいきいきルーム
24	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
25	思い出写真仕分け作業	総合ケアセンター
27	社協第1回監査会	総合ケアセンター展示・談話室
	県共同募金会南三陸町共同募金員会第1回監査会	総合ケアセンター展示・談話室
	市町村社協生活福祉資金担当者会議	事務局(リモート)
30	日常生活自立支援事業地域別研修会 生活支援員新規採用者オリエンテーション	総合ケアセンター展示・談話室
	南三陸町遺族会総会(書面決議)	
	南三陸町身体障害者福祉協会総会(書面決議)	
	キャップハンディ体験学習会	戸倉小学校5学年
31	第1回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター大会議室

6月

日	内 容	場 所
1	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
	老人福祉センター草刈り	老人福祉センター
3	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
7	社協第1回理事会	総合ケアセンター大会議室
	南三陸町共同募金委員会第1回運営委員会	総合ケアセンター大会議室
10	結のペナント贈呈式	戸倉小学校
	職員面談	老人福祉センター
13	日常生活自立支援事業判定会議（1名）	総合ケアセンター展示・談話室
14	災害協定に基づく情報伝達訓練	
15	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
16	第3回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
17	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
20	第1回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）
22	社協第1回評議員会	総合ケアセンター大会議室
28	第1回結の里運営協議会	志津川東復興住宅第2集会所
	福祉教育推進員養成研修会（オンデマンド動画）	事務局

7月

日	内 容	場 所
1	声の広報	結の里 相談室
11	南三陸町老人クラブ連合会総会	志津川東復興住宅第2集会所
13	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
14	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
	第4回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
15	令和4年度職員健康診断打合せ	事務局
20	第2回広報委員会	志津川東復興住宅第2集会所
21	令和4年度市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議	志津川東復興住宅第2集会所 （オンライン）
25	老人福祉センター周囲草刈り	老人福祉センター
26	令和4年度市町村共同募金委員会事務局長会議	事務局（オンライン）
27	第2回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）
	第1回介護福祉課生活相談員業務改善会議	結の里

8月

日	内 容	場 所
1	声の広報	結の里
2	第2回結の里運営協議会	志津川東復興住宅第2集会所
	看護員面接（1名）	志津川東復興住宅第2集会所
3	全国福祉教育推進員研修会	（オンライン）結の里
10	辞令交付（採用嘱託職員1名看護員）	事務局
17	職員全体研修会打合せ	事務局
19	令和4年度南三陸町戦没者追悼式準備	ベイサイドアリーナ交流ホール
19	宮城県社会福祉協議会副会長来所	事務局
20	令和4年度南三陸町戦没者追悼式（自由献花）	ベイサイドアリーナ交流ホール
22	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
26	市町村共同募金会担当者ミーティング	結の里（オンライン）
	株式会社清建来所 寄附金受納	事務局
28	24時間テレビチャリティーイベント結の夏祭り	結の里
29	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
30	気仙沼地域生活保護受給者就労自立促進事業協議会	気仙沼職業安定所

9月

日	内 容	場 所
1	日常生活自立支援事業地域別研修会	本吉
	災害時支援協定に基づく情報伝達訓練	
	社協会費依頼（区長配布同時）	各行政区長宅
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
5	南三陸町老人クラブ連合会 会長副会長会議	志津川東復興住宅第2集会所
6	職員面談	老人福祉センター
7	職員面談	老人福祉センター
9	老人福祉センター草刈り	老人福祉センター
12	職員面談	入谷デイサービスセンター
	グラウンドゴルフ大会第1回実行委員会	志津川東復興住宅第2集会所
14	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
16	職員面談	入谷デイサービスセンター
21	秋の交通安全運動 出動式	南三陸町役場駐車場
	第2回暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ交流ホール
	社協第2回理事会	志津川東復興住宅第2集会所
22	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
26	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所

27	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
28	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
29	赤い羽根共同募金依頼（志津川地区、入谷地区）	各行政区長宅
30	赤い羽根共同募金依頼（歌津地区、戸倉地区）	各行政区長宅

10月

日	内 容	場 所
1	「さんさん南三陸」オープニングセレモニー	さんさん南三陸
3	声の広報	結の里
5	職員健康診断	老人福祉センター
5	気仙沼地域生活保護受給者就労自立促進事業協議会	気仙沼職業安定所
7	災害時相互支援協定に基づく連絡担当者会議及び 第1回災害支援連絡会議	結の里（オンライン）
11	まもり一ぶ生活支援員（採用1名）	
12	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
13	安全運転管理者法定講習会	ベイサイドアリーナ交流ホール
14	介護支援専門員面接（1名）	老人福祉センター
	グラウンドゴルフ大会第2回実行委員会	志津川東復興住宅第2集会所
17	車輛寄贈	老人福祉センター
18	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
19	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
	第3回広報委員会	志津川東復興住宅第2集会所
	グラウンドゴルフ大会準備	松原グラウンド
20	グラウンドゴルフ大会	松原グラウンド
	職員面談	老人福祉センター
21	キャップハンディ体験会打合せ（伊里前小学校）	伊里前小学校
24	日常生活自立支援事業オリエンテーション	志津川東復興住宅第2集会所
	日常生活自立支援事業生活支援員辞令交付(10/11付)	志津川東復興住宅第2集会所
	南三陸町民生委員児童委員協議会全体会	ベイサイドアリーナ交流ホール
26	第2回地域づくりあれこれ	志津川東復興住宅第2集会所
28	生活福祉資金貸付事業担当者会議（オンライン）	事務局
31	キャップハンディ体験学習会	伊里前小学校3学年

11月

日	内 容	場 所
1	辞令交付（嘱託職員1名採用、異動）	採用者：事務局 他：各部署
	新規採用者オリエンテーション	志津川東復興住宅第2集会所
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所

	新任職員研修会	総合ケアセンター多目的室
7	宮城県市町村社会福祉協議会連絡会県北圏域会議	登米市迫町
8	火災見舞い（入谷地区住民）	桜沢復興住宅
9	第68回社会福祉大会	仙台市
10	宮城県共同募金会事務局来所	結の里
11	自主活動グループ交流会（入谷地区）	入谷公民館
	第68回宮城県老人クラブ大会	七ヶ浜
14	宮城県社会福祉大会受賞者へ表彰状伝達	歌津
15	日常生活自立支援事業判定会議（1名）	総合ケアセンター多目的室
16	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
17	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
	宮城県社会福祉大会受賞者へ表彰状伝達	戸倉、入谷
18	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第2集会所
22	市町村老人クラブ連合会会長・事務局合同会議	仙台市
24	自主活動グループ交流会（志津川地区）	生涯学習センター

12月

日	内 容	場 所
1	南三陸町民生委員児童委員等委嘱状交付式会場準備	ベイサイドアリーナ交流ホール
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
	南三陸町民生委員児童委員等委嘱状交付式	ベイサイドアリーナ交流ホール
	南三陸町民生委員児童委員退任者感謝状贈呈式	ベイサイドアリーナ交流ホール
	南三陸町民生委員児童委員会全体総会	ベイサイドアリーナ交流ホール
8	宮城県共同募金会理事会	仙台市
9	正職員採用試験（看護職）	総合ケアセンター多目的室
14	令和4年度シルバーリーダー及び女性リーダー合同研修会	仙台市事務局1名、老ク会長出席
20	正職員会議	総合ケアセンター多目的室
23	南三陸町民生委員児童委員協議会新任研修会	いきいきルーム
	職員面談	総合ケアセンター多目的室
27	南三陸町長、副町長、総務課長来所（挨拶）	事務局
28	仕事納め：全事業所まわり 会長、事務局長	

令和5年1月

日	内 容	場 所
4	仕事始め：全事業所まわり 事務局長	
	南三陸町新年懇談会 会長出席	ベイサイドアリーナ交流ホール
5	新型コロナウイルス感染症発生時における推進体制会議	志津川東復興住宅第2集会所
6	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所

10	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う会議	志津川東復興住宅第2集会所
11	歳末助成金届（にじのわ歌津）	にじのわ歌津
	志津川デイサービス閉鎖（コロナ感染拡大による）	
13	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
18	生活福祉資金担当者会議（オンライン）	事務局
19	事務員面接（1名）	総合ケアセンター多目的室
	戦没者慰霊碑の再建式打合せ	総合ケアセンター相談室
20	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第2集会所
23	第4回広報委員会	志津川東復興住宅第2集会所
27	第3回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター大会議室
	市町村共同募金会担当者ミーティング（オンライン）	結の里
30	市町村老人クラブ連合会会長意見交換会	仙台市 県民会館

2月

日	内 容	場 所
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
	デマンド交通説明会	南三陸町役場
	あさひ幼稚園・ひがし幼稚園・マリンパル保育園へ 寄附金による物品贈呈式	各幼稚園等
8	にじのわ歌津へ寄附金による物品贈呈式	にじのわ歌津
8	市町村社協事務局長会議（オンライン）	事務局
10	職員面談	総合ケアセンター多目的室
13	防災研修会	ホテル観洋
14	第5回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
15	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
	歌津地区慰霊碑除幕式打合せ	総合ケアセンター相談室
17	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
21	地域づくりあれこれ	志津川東復興住宅第2集会所
22	LSA 事業定期検査	総合ケアセンターいきいきルーム
24	介護福祉管理者会議	志津川東復興住宅第2集会所

3月

日	内 容	場 所
1	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
	春季火災予防運動（3/1～7）	
	町総合計画ヒアリング：役場企画課来所	事務局
2	総合ケアセンター自衛消防訓練	総合ケアセンター
3	気仙沼保健福祉事務所長来所 表彰状授与	事務局

8	デマンド交通説明会	事務局
11	歌津地区戦没者慰霊碑除幕式	伊里前公園
13	共生社会推進会議（オンライン）	事務局
15	社協第3回理事会	総合ケアセンター大会議室
	南三陸町共同募金委員会第2回運営委員会	総合ケアセンター大会議室
16	係長会議	志津川東復興住宅第2集会所
17	南三陸町共同募金委員会第3回運営委員会	総合ケアセンター大会議室
	福祉活動専門員補助金実績に係る会議	総合ケアセンター相談室
22	第6回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
23	社協第2回評議員会	総合ケアセンター大会議室
24	介護福祉管理者会議	老人福祉センター
29	職員面談	志津川東復興住宅第2集会所
30	地域福祉活動計画打合せ	結の里
31	辞令交付式	総合ケアセンター多目的室

4年度社協職員全体研修会

月 日	研修内容	参加人数	講師等
4月20日	社協が目指すもの・方向性・チームワーク	46名	本会事務局長：三浦真悦氏
5月18日	地域資源	40名	本会生活支援コーディネーター 芳賀裕子氏・千葉ユミ氏
6月16日	感染症対策「勉強会」	44名	NPO法人きれいな手
7月14日	感染症対策「ゾーニング・衛生資材使用方法」	32名	理事長：残間由美子氏
8月18日	認知症フォローアップ研修		(コロナ感染拡大の為中止)
9月15日	メンタルヘルスマネジメント		(コロナ感染拡大の為中止)
10月13日	レクリエーション技法		(コロナ感染拡大の為中止)
11月16日	身体拘束・虐待防止		(コロナ感染拡大の為中止)
12月14日	身体拘束・虐待防止及び権利擁護		(コロナ感染拡大の為中止)
1月18日	メンタルヘルスマネジメント		(コロナ感染拡大の為中止)
2月14日	高齢者への救命処置	34名	南三陸消防署
3月15日	リフレッシュ体操	32名	HopKidsClub 南三陸体操教室 阿部純子氏



(5) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において安心して生活が送れるよう、利用者との契約・支援計画に基づき定期的に訪問し金銭管理を支援した。

利用者の体調及び生活状況、周囲環境の変化等に注意を払い、専門員への報告・連絡等を密にし異変時の早期対応に繋げ、利用者の不安軽減・消失に努めた。

支援員間での情報交換・共有、現状把握をこまめに行った。

- 研修実施状況：地域別研修会1回（4年9月1日）
- 生活支援員数：8名（令和4年6月1日付1名採用）
（令和4年10月11日付1名採用）
（令和5年3月31日付1名退職）
- 新規利用者数：2名
- 解約者数：2名
- 利用者実人数：15名（2年度：実人数13名）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
志津川（実人数）	9	9	8	9	9	9
歌津（実人数）	6	6	6	6	6	6
計	15	15	14	15	15	15
（支援延回数）	31	29	33	34	36	30
月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
志津川（実人数）	8	8	9	8	8	8
歌津（実人数）	6	6	6	6	6	6
計	14	14	15	14	14	14
（支援延回数）	27	30	32	31	31	34

(6) フードバンク事業（食糧銀行）

生活協同連合会と提携し福祉ニーズ等により、食品を必要としている人に対し提供した。食品の無駄をなくし、有効活用を実現するとともに社会福祉に寄与することを目的とし実施した。

【実利用人数】 12名（3年度12名） （ ）内は、前年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
延べ利用人数	0	1	4	6	8	2	1
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
延べ利用人数	2	2	1	5	2	34（26名）	

(7) 南三陸町民生委員児童委員協議会との連携

地域住民の一員としてそれぞれが担当する区域で、生活上の様々な相談に応じ行政をはじめ適切な支援サービスへの「つなぎ役」としての役割をはたす南三陸町民生委員児童委員と社協が実施するそれぞれの事業において、情報提供・共有、連携を密に行い、支援を必要とする方々がスムーズに且つ適切なサービスに繋がり、利用が出来るよう、また一人一人が地域の中で安心して自立した生活を継続出来るよう努めた。

(8) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、各関係機関と情報共有を行いながら、その在宅福祉及び社会参加の推進を図ることを目的とした貸付を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少や失業された方に対し、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付を設け、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を実施した。

●相談・申込状況

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人数	5	7	2	4	5	5	1
相談件数	7	9	6	5	13	7	2
決定件数	5	3	1	1	0	3	0
月 別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
実人数	5	2	2	5	6	49 (37)	
相談件数	5	2	2	6	8	72 (45)	
決定件数	0	0	0	0	0	13 (24)	

()内は、前年度

●貸付状況

種 別	貸付件数	新規貸付	滞納世帯
総合支援資金	21 (16)	6 (10)	3 (0)
福祉資金	0 (0)	0 (0)	0 (0)
教育支援資金	3 (3)	0 (0)	0 (0)
生活復興支援金	1 (1)	0 (0)	1 (1)
更生資金	2 (2)	0 (0)	2 (2)
更生資金 (障害者)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
福祉資金 (住宅)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
緊急小口資金	38 (42)	7 (14)	16 (17)
合 計	67 (66)	13 (24)	24 (22)

()内は、前年度

(9) 生活安定資金貸付事業

低所得者に対し、小口の貸付と必要な援助指導を行い、自立更生と生活安定に寄与することを目的とする貸付制度を実施した。

●相談・申込み状況

(単位:円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
相談	0	0	0	0	2	0	0
申込	0	0	0	0	0	0	0
決定	0	0	0	0	0	0	0
貸付額	0	0	0	0	0	0	0
償還	2	0	0	0	0	0	1
償還額	25,000	0	0	0	0	0	10,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
相談	0	1	0	1	1	5 (9)	
申込	0	0	1	1	0	2 (1)	
決定	0	0	1	1	0	2 (1)	
貸付額	0	0	70,000	50,000	0	120,000 (50,000)	
償還	0	1	0	0	0	4 (26)	
償還額	0	5,000	0	0	0	40,000 (157,977)	

※令和5年3月31日現在：4件 147,000円貸付中 ()内は、前年度

(10) 南三陸町老人福祉センター管理運営事業

町民の福祉向上を図るため、施設提供や各種の相談対応、健康増進や教養の向上、活動のための便宜等を図った。また、職員の職場健診のための場所の提供や研修会のための場所の提供、デイサービスセンター行事等の便宜を図った。

《利用実績》

()内は、前年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用人数	0	0	0	0	0	88	57
利用回数	0	0	0	0	0	7	1
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用人数	17	7	5	4	6	184 (122)	
利用回数	2	1	1	1	1	14 (6)	

(11) 助成事業

※園児1人/2,000円

福祉団体等に対し、円滑な組織運営や活動を行われるように助成金を交付。

- ① 入谷ひがし幼児園 68,000円 (園児34名)
- ② あさひ幼稚園 74,000円 (園児37名)
- ③ マリンパル保育園 14,000円 (園児7名)
- ④ 南三陸町人権擁護委員会 20,000円



(12) 善意銀行事業

●指定寄付金による払い出しでの希望物品の贈呈。

- ①入谷ひがし幼稚園 100,000円相当分(98,000円)
- ②あさひ幼稚園 100,000円相当分(92,490円)
- ③マリンパル保育園 50,000円相当分(49,965円)
- ④にじのわ 50,000円相当分(49,324円)

●火災見舞金の払い出し。

- ①3/30 発生の火災(南三陸町歌津地区) 30,000円
- ②11/8 発生の火災(南三陸町入谷地区) 30,000円

(13) 事務受託団体

- ①南三陸町老人クラブ連合会：屋外活動(グラウンドゴルフ大会)を実施。
- ②南三陸町愛の手をつなぐ親の会
- ③南三陸町身体障害者福祉協会
- ④南三陸町遺族会
- ⑤南三陸町共同募金委員会：運営委員会2回開催

(14) いきいき百歳体操事業：受託事業

専門的知見を活かした介護予防の取り組みを基に、誰もが参加できる効果的な介護予防を推進、生活地域の通いの場を活かし住民が主体的に実施することで、見守りや支え合いなどの地域づくりに繋がるよう、南三陸町地域包括支援センター及び関係機関と連携を図りながら、住民の自主性の向上に努めた。

感染予防対策の周知を徹底し、活動を休止せず筋力低下防止についての声掛け等の支援を行った。また、体操を休止したことにより意欲が低下してしまった団体に対し、継続支援を行った。定期的に体力測定等を行う事で健康に対する意識の向上と、健康運動指導士、理学療法士や作業療法士の専門的知見を活かしたアドバイスで参加者のフレイル予防、筋肉の向上・維持につなげた。

①事業実績

()内は、前年度

月	団体数	訪問回数	全人数	月	団体数	訪問回数	全人数
4月	26 (23)	14 (0)	377 (401)	10月	28 (21)	11 (15)	361 (359)
5月	26 (23)	13 (9)	376 (401)	11月	28 (26)	10 (16)	361 (381)
6月	27 (23)	11 (8)	366 (401)	12月	28 (26)	14 (15)	364 (387)
7月	28 (23)	9 (14)	379 (351)	1月	28 (27)	10 (11)	364 (387)
8月	28 (23)	0 (2)	379 (349)	2月	28 (27)	7 (0)	366 (387)
9月	28 (23)	2 (0)	360 (349)	3月	28 (27)	0 (3)	366 (383)

※4年度新規団体数：2団体

3-2 地域福祉事業 総務課地域福祉係

①福祉活動専門員設置事業

(1) 広報活動

①社協だよりの発行

号数	発行日	印刷部数	号数	発行日	印刷部数
62号	5月1日	6,000部	64号	11月1日	6,000部
63号	8月1日	6,000部	65号	2月1日	6,000部

②社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行い、また、SNSによる発信としてTwitterとFacebook、YouTubeによる情報発信も行い、多くの方々に閲覧頂き社協PRに努めた。

(2) 南三陸町福祉健康まつり 2022

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動チラシ500部を作成

6/20(月)・7/27(水)・8/25(木)オンラインミーティング

(3) 視察/ヒアリング受入れ (オンライン研修含む)

NO	月 日	団 体 名 等	方法	人数
1	4月17日	日本福祉大学教授他	対面	13
2	5月16日	復興庁気仙沼支局	対面	2
3	6月1日	(株)河北新報社南三陸支局	対面	1
4	7月4日	名取市サポートセンターどっと、なとり	対面	11
5	7月6日	大郷町役場復興推進室	対面	4
6	7月28日	(一社)みやぎれんぷく復興センター	対面	4
7	8月1日	大阪府守門地区協議会	対面	11
8	8月2日	気仙沼高等看護学校	対面	4
9	8月8日	(株)三陸新報社	対面	1
10	8月18日	NHK放送局	対面	1
11	8月18日	移住定住センター	対面	1
12	8月24日	東京ベネッセソーシャル	対面	2
13	9月12日	フードバンク石巻	対面	2
14	9月13日	復興庁気仙沼支局	対面	3
15	10月13日	会津若松市民生児童委員協議会	対面	16
16	11月2日	登米市社会福祉協議会南方地区委員	対面	13
17	11月9日	復興庁宮城復興局石巻	対面	3
18	11月29日	共同通信社	対面	1
19	12月1日	志津川小学校4年生	対面	25
20	12月1日	台北視察団	対面	7

21	12月2日	南三陸町議会議員	対面	1
22	12月9日	村田町地域おこし協力隊	対面	1
23	12月22日	アマタホールディングス(株)	対面	1
24	1月17日	復興庁宮城復興局	対面	3
25	1月20日	トヨタ自動車東日本(株)	対面	1
26	2月3日	アマタホールディングス(株)	対面	1
27	2月17日	復興庁宮城復興局石巻	対面	3
28	2月24日	福島県よりそいネットワークス	対面	5
29	3月28日	東京都情報労連組織対策局	対面	3
30	3月30日	(株)河北新報社南三陸支局	対面	1
合 計				145

(4) 講師等派遣事業【依頼先/開催場所】

NO	月日	研修名(開催場所)	方法	人数
1	4月10日	World 防災 Walk 東北+10	対面	50
2	5月12日	災害時の連携を考える全国フォーラム	オンライン	25
3	6月30日	愛知県日本福祉大学「総合演習」	オンライン	50
4	7月21日	愛知県安城市まちづくり研究会	オンライン	74
5	9月7日	みやまる会議	オンライン	15
6	9月15日	立正大学ボランティア研修	対面	22
7	12月17日	東北学院大学 CSW 公開講座	ハイブリッド	15
8	1月25日	宮城いきいき学園登米・南三陸研修	対面	24
9	2月27日	東京都社会福祉協議会被災者支援状況	オンライン	30
10	3月9日	トヨタ自動車災害ボランティアを学ぶ	オンライン	150
合 計				455

(5) ワークショップ等の開催

NO	月日	内容等	関係団体	人数
1	6月13日	カブ収穫ワークショップ	町内農家さん	13
2	7月4日	梅づくりワークショップ	結の里	14
3	7月6日	カブ収穫ワークショップ	町内農家さん	5
4	7月8日	YES 工房ワークショップ①	南三陸 YES 工房	8
5	7月15日	YES 工房ワークショップ②	南三陸 YES 工房	8
6	7月26日	ブルーベリー摘み取り①	町内農家さん	5
7	8月5日	ブルーベリー摘み取り②	町内農家さん	7
8	8月22日	とみぎ収穫	町内農家さん	16
9	8月30日	花台DIY	(一社)みちのさき	14
10	8月31日	多肉植物寄せ植えワークショップ①	(一社)みちのさき	17

11	9月8日	コーヒードリッパーDIY	(一社)みちのさき	12
12	9月12日	多肉植物寄せ植えワークショップ②	(一社)みちのさき	24
13	9月26日	スマホスタンド	(一社)みちのさき	8
14	9月26日	多肉植物寄せ植えワークショップ③	(一社)みちのさき	16
15	10月5日	ライン教室①	仙台応用情報学研究振興財団	2
16	10月7日	ライン教室②	仙台応用情報学研究振興財団	1
17	10月12日	ライン教室③	仙台応用情報学研究振興財団	4
18	10月14日	ライン教室④	仙台応用情報学研究振興財団	4
19	10月19日	ライン教室⑤	仙台応用情報学研究振興財団	4
20	10月26日	ライン教室⑥	仙台応用情報学研究振興財団	4
21	10月28日	ライン教室⑦	仙台応用情報学研究振興財団	4
22	10月31日	干し柿づくりワークショップ	結の里	6
23	11月7日	干し柿づくりワークショップ	結の里	4
24	11月9日	ライン教室⑧	仙台応用情報学研究振興財団	4
25	11月10日	多肉植物寄せ植えワークショップ④	(一社)みちのさき	20
26	11月11日	ライン教室⑨	仙台応用情報学研究振興財団	4
27	11月16日	大根収穫ワークショップ	平磯	3
28	11月21日	寒天づくりワークショップ	第2集会所	7
29	11月28日	YES工房ワークショップ③	南三陸YES工房	9
30	11月29日	YES工房ワークショップ④	南三陸YES工房	14
31	12月2日	カブ収穫ワークショップ	町内農家さん	5
32	2月8日	ヨーヨーキルトペナント制作①	(一社)みちのさき	7
33	2月15日	ヨーヨーキルトペナント制作②	(一社)みちのさき	8
合 計				281

(6) 住友理工あったか基金事業 1,460食×700円=1,022,000円
株式会社住友理工職員による地域支援事業の一環として、本会に対しご支援をいただいた。内容については地域コミュニティづくりへのお弁当支援とし、町内弁当業者への経済効果(還元)も視野に実施した。

(7) 住民支え合い事業の実施(共同募金事業) 累計額 590団体 46,296,000円

①対象団体：宮城県在住者5名以上で構成されている東日本大震災の被災者支援活動及び復興支援活動を行うボランティアグループやNPO法人等の非営利団体

②助成対象活動

ア.生活支援活動 イ.サロン活動 ウ.季節の行事 エ.住民交流事業

③助成金 1団体50千円を上限に申請 53団体×50千円=2,650千円助成決定

(8) ほっとバンク事業

日常の見守りや支え合いの重要性を共有しイベント等のボランティア活動を実施

○R4年度末 登録メンバー 210名/年間活動数 66回 570名

○ほっとバンク協力店 56団体

○ほっとバンクボランティア活動

NO	日 時	活動内容	参加者
1	6月 3日(金) 8:30~11:30	復興祈念公園除草	23
2	6月 17日(金) 8:30~11:30	復興祈念公園除草	30
3	9月 14日(水) 8:30~11:30	復興祈念公園除草	20
4	11月 22日(火) 10:00~12:00	研修会 1~そこに合いはあるんかい~	33
5	3月 3日(金) 10:00~12:00	研修会 2~共に支え合う地域づくり~	26

(9) 救急医療情報キット「いのっちくん」事業

民生児童委員等と連携し心身に不安を抱える住民にキットを支給、自宅の冷蔵庫等に保管し有事に備え、また、南三陸消防署とも連携協力を継続している。

内 容	令和3年度	令和4年度
いのっちくん所持者	506人	505人
南三陸消防署の活用数	38件	38件

(10) SOS フラッグ事業

救急医療情報キット「いのっちくん」を所持している一人暮らしの方197人を対象にSOSフラッグを配布し見守りの一助としている。

No.	日 時	内 容	参加者
1	12月7日(水)	SOSフラッグ活用訓練	民11人・ほ2人・所持者17人

(11) 虹のバトン事業

公的なサービスでは賄えない隙間事業（生活支援事業）に対し、本人及び介護支援専門員や専門職より依頼を受け実施した。

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	11	11	19	19	18	5
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	10	19	5	7	15	20
合 計				159件		

(12) ボランティアセンターの運営

新型コロナウイルス感染拡大の影響も考慮しつつ、県外、町内ボランティアの受入れ及び活動を他の関係機関とも連携し実施した。

(ほっとバンクに加入しないがボランティア活動に参加したケース)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	9	3	53	21	20	37
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	18	1	11	0	0	55
合 計				228 件		

(13) ボランティア保険加入状況

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	149	183	37	2	1	15
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	2	0	3	0	0
合 計				392 件(R3 年度 450 件)		

(14) ボランティア行事用保険加入状況

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	298	232	331	259	60	295
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1,187	60	301	54	315	485
合 計				3,877 件(R3 年度 2,092 件)		

(15) 福祉共育事業

「普通の暮らしのしあわせ」をテーマに、福祉講話と実技を体験し社会的に不利な条件にある立場を入れ替え相手の気持ちに寄り添う授業を実施した。

① 5/30 戸倉小学校 5年(8名)

② 10/31 伊里前小学校 3年(17名)

(16) 防災教育事業

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1	3	5	1	0	0
人数	17	35	63	9	0	0
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1	0	0	0	1	0
人数	6	0	0	0	12	0
合 計				12 件/142 人		

②結の里3本柱事業【地域福祉係全体】

赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽に集える居場所づくりを推進し、住民が主体性と役割を持って暮らせるよう結の里運営協議会及び実行委員会を中心に活動を展開した。

- 1) 運営協議会の開催 2) 各実行委員会の開催 3) コロナ禍によるオリジナル活動
 ・ご自宅ワークショップ(ヨーヨーキルトでペナント製作)の開催
 ・毎月1日に結情報発行(地域限定1,500部)

(1) えんがわカフェ 営業：月曜日～金曜日の8:30～17:00

- 月曜日 野菜朝市/ボアラズ弁当 ○火曜日 クレープ屋 ○水曜日 いずみパン
 ○木曜日 パン ○金曜日 杏樹の森惣菜(移動販売電気料)60分50円/委託500円
 ○カフェ・結BOX利用料収入(月100円利用料) 3月末時点 14名利用
 ○ちいさなたがい市出張カフェ(年7回) ○各種ワークショップ会場使用料
 ○月別売上 R4月平均38,180円 R3年度月平均30,650円

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上金	52,200	26,750	33,570	40,200	31,150	91,350

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
57,000	24,800	33,050	17,350	25,300	25,450	458,170

(2) イベント関係

日 時	内 容	活動場所	人数
4月21日(木)	ちいさなたがい市	結の里	126
4月29日(金)	結の春祭り	結の里	189
5月19日(木)	ちいさなたがい市	大船集会所	87
5月30日(月)	ミキBabyデッキコンサート	結の里	94
6月16日(木)	ちいさなたがい市	沖田集会所	157
7月19日(火)	歌津中学校防災教育推進委員会	歌津中学校	12
7月21日(木)	ちいさなたがい市	伊里前公営	64
8月28日(日)	結の夏祭り	結の里	343
9月15日(木)	ちいさなたがい市	名足公営	53
10月4日(火)	走らない大運動会	中央広場	195
10月16日(日)	みんなの音楽祭	結の里	159
10月20日(木)	ちいさなたがい市	港新義会館	74
10月28日(金)	あさひ幼稚園ハロウィンイベント	あさひ幼稚園	50
11月2日(水)	ちいさなたがい市	西第一公営	112
12月11日(日)	結のまんぷく祭り	結の里	124
12月15日(木)	SAPIIクリスマス会	第2集会所	31
2月3日(金)	我笑イベント	結の里	102

3月7日(火)	紙芝居カフェ	結の里	17
3月29日(水)	紙芝居カフェ	戸倉公営	14
合 計			2,003

(3) みんな食堂 【参加費 300 円】

○こころパックプロジェクトⅡを実施し、一人親世帯、困窮世帯、町外に住む学生支援として97世帯へ朝ごはんパッケージを贈呈。

○テイクアウト、デリバリーにて町内7カ所の公営住宅を拠点に実施。

日 時	内 容	参加人数
4月22日(金)	親子丼&スイーツ	252
5月20日(金)	南三陸うどん&おみくじ	225
6月24日(金)	油麩丼	229
7月22日(金)	冷やし中華	247
8月28日(日)	結の夏祭り 焼きそば 150食	-
9月16日(金)	夏野菜カレー	225
10月21日(金)	豚汁&新米おにぎり	242
11月18日(金)	あずきぱっとう&酢の物	255
12月23日(金)	クリスマスホタテご飯・鶏の照煮・コーヒー寒天	258
2月17日(金)	ビンカン炊込みご飯	225
3月24日(金)	三色丼&スイーツ	232
合 計【宮城県共同募金事業より 50,000 円】		2,390

③災害公営住宅 LSA 事業：受託事業

60 戸以上の災害公営住宅集会所の高齢者生活相談室に生活援助員を 1~2 名配置し、個別支援、自治会運営等にかかるコミュニティ活動支援の両輪で活動を行った。

また、結の里事業を通じ、近隣住民との交流の場づくり、支え合いの浸透により住民力を発揮できるよう促しながら、個々の役割づくりやエンパワメントを推進した。

事務所 本部事務所(結の里)・伊里前・戸倉・東東・東西・西・中央

- ① 職 員 正職員 1名(兼務) 嘱託職員(生活援助員) 9名(専任)
- ② 見守り 4,461件 電話 1,983件 来所 5,508件
関わり 48,945件 相談 292件
- ③ 活 動 体操・運動 1,123回/8,980名 地域間交流 155件/3,301名
住宅内交流 186回/1,313名
- ④ 毎週火曜日朝9時から地域福祉係全体の朝ミーティングを開催
- ⑤ 毎月第2火曜日午後より地域福祉係全体による月例総括会議を開催
- ⑥ 毎月実施の社協職員全体研修(スキルアップ研修)に参加
- ⑦ 地域づくりのあれこれ(自治会役員等研修会・ワークショップ)

月 日	研修内容	実施場所	参加者
4月14日(木)	「合鍵」「共益費」について	第2集会所	32
10月26日(水)	「地域課題」「フードバンク」「SOSフラッグ」	第2集会所	41
2月21日(火)	「合鍵」「認知症とコロナ」「ほっとバンク」	第2集会所	43

*その他結の里イベント、みんな食堂、えんがわカフェ等に協力

④生活支援コーディネーター事業：受託事業（第1層1名・第2層1名）

地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れること、地域の担い手を育成しながら支え合いの輪を広げていくことを主眼とし、介護保険サービスが必要になった際も地域とのつながりを切らさないようサポートし地域住民及び介護支援専門員等への情報提供を積極的に行っている。また、地域で実施しているサロン事業の点を線でつなぐ役割を持ち、町民がいきいき元気に暮らすため健康寿命の延命に向け地域みんなで暮らしを支える仕組みづくりも担っている。

①関わり団体件数

合計 102 団体

志津川地区	入谷地区	歌津地区	戸倉地区
133	78	80	32
町内全域	NPO		
27	13		

②研修・連携内容

*毎月1回地域包括支援センターと月例会を開催し情報共有及び方向性を確認した。

*隔月1回第3月曜日に関係機関との地域支援ミーティングを開催した。

*LSAと共に週に一度の朝ミーティングを実施し情報の共有を図った。

*隔月毎に社協内の地域福祉会議に参加し情報の共有を図った。

*石巻市・女川町・東松島市・登米市・南三陸町の生活体制整備事業担当者合同開催による定期的な研修を実施し近隣市町の活動状況把握や情報の共有を行った。

*南三陸町福祉健康まつり実行委員会事務局として連絡調整を行った。

③その他の事業実施・研修参加状況

No	月 日	活動内容	場 所
1	4月14日(木)	地域づくりのあれこれ～自治会研修会～	志津川東第2集会所
2	4月18日(月)	第11回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
3	5月12日(木)	介護支援専門員情報交換会	総合ケアセンター
4	5月19日(木)	第12回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
5	5月20日(金)	オンラインdeお宝発表会	生涯学習センター
6	5月31日(火)	第1回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター
7	6月28日(火)	第13回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
8	6月20日(月)	介護家族リフレッシュ教室	総合ケアセンター
9	6月29日(水)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会①	総合ケアセンター
10	6月30日(木)	生活支援担い手養成講座	ベイサイドアリーナ

11	7月11日(月)	南三陸町老人クラブ連合会総会	志津川東第2集会所
12	7月25日(月)	オンライン体操レクリエーション①	結の里
13	8月4日(木)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会②	総合ケアセンター
14	8月17日(水)	第14回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
15	8月29日(月)	オンライン体操レクリエーション②	結の里
16	9月7日(水)	みやぎ災害対応円卓会議(オンライン)	結の里
17	9月15日(木)	認知症講演会	ベイサイドアリーナ
18	9月21日(水)	第2回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター
19	9月30日(金)	Hotmail 研修会@南三陸	ベイサイドアリーナ
20	10月1日(土)	地域の掘り出し市@南三陸	ベイサイドアリーナ
21	10月6日(木)	自主活動グループ交流会@歌津地区	歌津公民館
22	10月7日(金)	自主活動グループ交流会@戸倉地区	戸倉公民館
23	10月7日(金)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会③	総合ケアセンター
24	10月26日(水)	地域づくりのあれこれ～自治会研修会～	志津川東第2集会所
25	11月11日(金)	自主活動グループ交流会@入谷	入谷公民館
26	11月11日(金)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会④	総合ケアセンター
27	11月22日(火)	ほっとバンク研修会～そこに「合い」はあるんかい?～	志津川東第2集会所
28	11月24日(木)	自主活動グループ交流会@志津川	生涯学習センター
29	12月15日(木)	介護支援専門員情報交換会	総合ケアセンター
30	12月20日(火)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会⑤	総合ケアセンター
31	12月21日(水)	宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議市町村情報交換会	サンシャイン佐沼
32	1月20日(金)	SmartGOTO デマンド実証運営について	結の里
33	1月27日(金)	第3回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター
34	1月31日(火)	第17回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
35	2月16日(木)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会⑥	総合ケアセンター
36	2月16日(木)	南三陸町地域包括ケア推進協議会	総合ケアセンター
37	2月21日(火)	地域づくりのあれこれ～自治会研修会～	志津川東第2集会所
38	3月2日(木)	第18回さんサポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
39	3月3日(金)	ほっとバンク研修会～ともに支え合う地域づくり～	志津川東第2集会所



3-3 在宅福祉事業 介護福祉課通所介護事業

①南三陸町デイサービスセンターうたつ（通所介護・第1号通所事業）

（1）事業全体評価

事業所本位の部分で課題は残るものの、利用者や家族の意向、個々の状態に合わせた対応が出来た。

利用者の趣味等を最大限に生かした活動は、職員間で意見を出し合い楽しみを持った活動の提供に繋げることが出来た。

食事提供について、コロナ禍ではあったが、畑で収穫した野菜を使用し、利用者自ら豚汁を作る活動は好評を得られた。

（2）取組み状況

①サービス向上

コロナ禍の影響で外部舞踊ボランティア等の受け入れが難しいことから、職員で創意工夫し敬老会、調理教室、屋外でのお茶会等を実施し、楽しく過ごせる活動時間の提供に努めた。

②接遇

職員間のコミュニケーションを心掛け情報共有した。言葉使いなどは当初に比べ穏やかな声掛けになった。

業務優先から利用者優先の基本的な事については改善傾向にある。

③業務改善

感染症やハラスメント、身体拘束、認知症など様々な研修会を実施した。

利用者本位を優先することばかりでなく、職員に対しても同様に考慮し、相乗効果を目指した。

（3）年間行事実施状況

実施期間	月	行事	内容
4/18～4/22	4月	平成の森お花見	平森レストラン前の桜をバックに記念撮影。
5/10～5/13 5/16～5/18	5月	田東山につつじ見物	田東山へ車でつつじを見学した。
6/13～6/17	6月	外でカフェ	藤棚の下でお茶会を実施した。
7/1～7/7	7月	七夕飾りを作成した	折り紙を使用し自宅で飾る七夕を作成した。
8/8～8/12	8月	夏祭り	金魚を作り、魚釣りゲームなど実施した。
9/19～9/23	9月	敬老会	職員による催し物を披露しお祝いをした。
10/30～11/4	10月	紅葉狩り	弘川ダムに紅葉見学に行った。
11/7～11/11	11月	運動会	2チームに分かれ、パンに見立てた物を取り競争した。
12/19～ 12/24	12月	クリスマス会	ケーキを皆で食し、クリスマスツリーの作成を行った。
1/4～1/6	1月	新年の抱負	今年目標を書き出し抱負を共有した。

1/30～2/3	2月	鬼退治	鬼の的を狙い倒れるまでお手玉を投げた。
2/20～24	3月	雛祭り	千代紙などを使いお内裏様とお雛様を作成。
随時	毎月	お誕生会	誕生者を皆でお祝いした。
随時	11月	豚汁作り	畑で栽培した野菜を収穫し豚汁を作る。
	12月	干し柿作り	平森の柿を剥き干し柿を作る。
	7月	裁縫教室	はぎれを使いコースターを作る。

(4) 研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数	
6月16日	感染対策と基本と対策について	6名	外部
7月14日	新型コロナ感染対策 ゾーニングについて	6名	外部
8月18日	認知症ケアについて	6名	内部
9月10日	宮城県キャリアパス支援事業	1名	外部
9月27日	第1回市町村社会福祉協議会 管理監督職員スキルアップ研修	1名	外部
10月24日	第2回市町村社会福祉協議会 管理監督職員スキルアップ研修	1名	外部
11月10日	他職種との理解と連携	1名	外部
11月18日	感染症	5名	内部
12月15日	令和4年度権利擁護研修会	1名	外部
2月14日	救命処置の手順(新型コロナ流行期)	6名	外部
2月24日	令和4年度ハラスメント及び虐待防止	4名	内部
3月1日	高齢者虐待について	7名	内部

(5) ボランティア等受入れ状況

月 日	氏 名(団体名等)	人 数	内 容
4月	南三陸歌津出張所 警察官	1名	特殊詐欺について
9月	結の里職員	3名	お楽しみ会

②南三陸町デイサービスセンターいりや（地域密着型通所介護・第1号通所事業）

（1）事業全体評価

新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな制限がかかる状況下において、スタッフが一丸となりコロナ感染予防対策及び研修、発生時のシミュレーションを定期的実施しながら、利用者が楽しく笑顔で過ごせる時間を提供出来るよう様々な工夫や行事、レクリエーションを実施した。

自立支援を目的に個別活動に力を入れ、利用者1人1人の残存機能を積極的に生かし、かつ意欲的に取り組める活動を取り入れ実施した。

地域密着型デイサービスとして、志津川高校生2名インターンシップの受け入れや、地域住民4名参加の消防訓練を実施、地域との交流の機会も提供できた。

（2）取組み状況

①サービス向上

連日朝夕15分間のミーティングを実施、検討結果を記録し情報共有を強化した。それによりサービス提供時柔軟な対応が行えた。

②接遇

言葉遣いや表情を豊かに家族や利用者とのコミュニケーションを取り、信頼関係の構築に努めた。

③業務改善

職員全員が効率的に役割分担を行えるよう、定期的に業務分担の見直しを行うなどの改善を図った。

必要時、書類の出し入れがスムーズに行えるよう、保管場所を統一した。

（3）年間行事実施状況

実施期間	月	行事	内容
4/18～23	4月	お花見	ひこころの里やクリーンセンターで桜見物と山ノ神平の水仙ロードを見物した。
5/17～21	5月	菜園作り	プランターに野菜の種や苗を植える。
6/20～22	6月	菜園手入れ	プランターに植え手入れ草取り
7/11～15	7月	納涼祭 (七夕)	短冊に願い事を書き、七夕を作り、ビンゴゲームを楽しんだ。
8/20～25	8月	夏祭り	金魚すくいや射的ゲームをし、夏祭りの雰囲気味わって賑やかに過ごした。
9/19～24	9月	敬老会	スタッフの踊りや利用者様の歌や踊りを披露し楽しんだ。
10/17～22	10月	運動会	紅白対抗パン取り競争や風船綱引き等を行った。
11/14～19	11月	写生会	野菜や果物等又は室内から見た風景を写生した。
12/19～24	12月	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けや景品有のビンゴゲームをして楽しんだ。

1/30～2/4	1月	新年会	スタッフと利用者と一緒に新しい年を祝い、1年の抱負を紙に書いた。
2/6～11	2月	節分	ペットボトルの鬼目掛けて豆に見立てたお手玉を当て厄払いをした。
3/6～11	3月	ひな祭り	雛人形を作成し自宅に持ち帰る。いつもより豪華なおやつをご馳走になる。
随時	年間	誕生会	その月々の誕生者を歌などで祝った。

(4) 研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数	
4月20日	社協職員研修（社協が目指す方向性）	7名	内部
5月9日	高齢者虐待についての再確認研修	7名	内部
5月18日	社協職員研修（地域資源）	6名	内部
6月16日	社協職員研修（感染対策の基本と対策について）	7名	内部
7月14日	社協職員研修（ゾーニングについて）	5名	内部
8月22日	認知症状の基本について	8名	内部
11月18日	介護保険制度遵守とは	1名	外部
7月9日～ 11月29日	介護職員初任者研修	1名	外部
12月15日	権利擁護研修会	1名	外部
2月20日～ 2月23日	介護職員の為の感染対策マニュアル再確認	8名	外部
2月20日	虐待について	8名	内部
2月27日	高齢者の救命処置の手順について	8名	内部
3月13日～ 3月16日	職場でのハラスメントの防止に向けて	8名	内部
3月22日	リフレッシュ体操	8名	内部

(5) ボランティア等受入れ状況

月 日	氏 名（団体名等）	人 数	内 容
9月6日～ 9月8日	志津川高校 ジュニアインターンシップ	2名	利用者とコミュニケーションをとったり、一緒にレクリエーションをして楽しんだ。
2月20日	自衛消防訓練	26名	南三陸消防署協力のもと、利用者、地域住民、職員による消防訓練を実施した。

③南三陸町デイサービスセンターとぐら（地域密着型通所介護・第1号通所事業）

（1）事業全体評価

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限のある状況の中であっても、一人一人のニーズに合わせたサービスの提供に努めた。

アットホームな雰囲気の中、楽しい時間を共に過ごすことで、利用者が楽しく通えるよう個々に合わせた趣味活動を重視した。

（2）取組み状況

①サービス向上

職員全員が統一したサービス提供ができるよう、定期的なカンファレンスの実施で利用者の状態把握に努め、日々の状態に応じたサービスと利用者、家族の思いや要望に応えるよう取り組んだ。

②接遇

言葉遣いに十分配慮しながら、利用者だけでなく家族ともしっかりコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことに努めた。

③業務改善

職員間での声掛けを心掛け、スムーズな連携が図れるよう努めた。

（3）年間行事実施状況

実施期間	月	行 事	内 容
4/13～4/18	4月	お花見	クリーンセンターへ桜見物及び散策をした。
5/2～5/7	5月	端午の節句	鯉のぼりの絵に色を塗り、デイ内に飾る。
6/13～6/19	6月	納涼祭	七夕作りや短冊に願い事を書き、飾った。
7/13～7/20	7月	プランター畑 栽培	プランター畑になすやトマトの苗を植え、育てた。
8/22～8/27	8月	夏祭り	景品有の輪投げ等行い、夏祭りを楽しんだ。
9/19～9/24	9月	敬老会	昔話やゲームをして皆で敬老を祝った。
10/10～10/15	10月	運動会	パン取り競争、玉入れ等の競技を紅白に分かれて競った。
11/7～11/9	11月	紅葉見物	送迎車にて町内の紅葉見物をした。
12/19～12/23	12月	クリスマス会	ツリーを飾り、歌やゲームで楽しんだ。
1/9～1/14	1月	新年会	利用者とスタッフで新年をお祝いした。
2/1～2/4	2月	節句	厄払いの豆まきをした。
3/1～3/6	3月	雛祭り	雛祭りを作成し飾った。
随時		お誕生日会	月の誕生者を皆で祝った。

(4) 研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数	
4月20日	社協が目指すもの・方向性・チームワーク	5名	内部
5月18日	地域資源	3名	内部
6月16日	感染対策の基本と対策	5名	内部
7月14日	感染対策：ゾーニング・衛生資材使用方法	1名	内部
8月20日	認知症ケアの基礎的知識理解について	6名	内部
12月15日	権利擁護研修会	1名	外部
2月14日	高齢者の救命処置	2名	内部
2月21日	高齢者の救命措置について（事業所内研修）	5名	内部
3月6日	高齢者虐待についての研修	5名	内部
3月13日	ハラスメント	5名	内部
3月15日	リフレッシュ体操	5名	内部

(5) ボランティア等受入れ状況

月 日	氏名（団体名等）	人 数	内 容
7月30日	黒龍会 代表 宮川祐一様	27名	トコヤッサイ・創作と星月夜を披露。

④南三陸町デイサービスセンターしづがわ（地域密着型通所介護・第1号通所事業）

（1）事業全体評価

個別機能訓練実施の利用者の歩行状態の安定や機能向上を図ることが出来た。
（歩行器使用から手添え自力歩行へ）

新型コロナウイルス感染予防対策を行い、利用者の身体状況の聞き取り等行いながらサービス提供に努めた。

（2）取組み状況

①サービス向上

利用者の身体状況に応じて、本人や家族の意向を聞き取り安全に現在の状態を維持できる対応を心掛け対応した。

②接遇

言葉遣いに気を付けながら、相手の気持ちに寄り添い思いやりの心で接することを心掛けた。

③業務改善

申し送りやミーティング等で利用者の情報を職員間で把握し、一人ひとりが責任をもった対応に努めた。

（3）年間行事実施状況

実施期間	月	行 事	内 容
4/13～19	4月	お花見	町内のお花見スポットを車内や車輻から降りて見物した。（東山・八幡神社付近・クリーンセンター等）
5/2～7	5月	鯉のぼり作成	折り紙やストローを利用して鯉のぼりを作成しフロアに飾り、その後自宅へ持ち帰る。
6/13～18	6月	散策	下肢等筋力低下予防の為施設周囲を散歩し、季節の風景を楽しんだ。
7/11～15	7月	外出支援	買物支援や近隣カフェで交流を図る（各自100円で好きな飲み物を注文して飲んだり、買物をして楽しんだ）
8/15～20	8月	夏祭り	金魚すくいや射的ゲームをして夏祭りの雰囲気味わった。
9/19～24	9月	敬老会	スタッフが日替わりで歌に合わせて踊りを披露し敬老を祝った。
10/1～22	10月	運動会	紅白に別れて風船綱引きや玉入れなど行い楽しんだ
10/31～ 11/3	11月	紅葉見物	歌津弘川ダム付近までの紅葉を見物した。
11/28～ 12/2	12月	クリスマス飾り作り	クリスマス飾りを個々に作成し自宅へ持ち帰った。
12/19～24	12月	クリスマス会	クリスマスプレゼントありのゲームを実施。

1/4～9	1月	かるた取り	かるた取りをし、お正月の雰囲気味わった。
1/30～2/4	2月	節分鬼退治	ペットボトル鬼をボールを蹴って倒した。
2/20～25	3月	ひな祭り	雛飾りを作成し自宅へ持ち帰り飾る。
随時		誕生会	その月々の誕生者をお祝いした。

(4) 研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数	
4月20日	社会が目指すもの、社会資源、チームワーク	5名	内部
5月18日	地域資源について	4名	内部
5月20日	事故発生時の対応について	6名	内部
6月16日	「感染対策の基本と対策」について	6名	内部
7月14日	感染対策「ゾーニングと防護服の正しい脱ぎ方等」	6名	内部
8月18日	認知症について	5名	内部
9月10日	認知症介護基礎研修	1名	外部
9月15日	緊急時の対応について	6名	内部
9月27日	令和4年度市町村社会福祉協議会管理監督職員のスキルアップ研修会	1名	外部
10月1日	改善部分の話し合い	9名	内部
10月24日	令和4年度第2回市町村社会福祉協議会管理監督職員のスキルアップ研修会	1名	外部
11月9日	令和4年度南三陸町包括ケア推進協議会における第1回在宅医療・介護連携推進部会	1名	外部
11月10日	宮城県キャリアパス支援事業研修会	1名	外部
11月29日	苦情について今後の話し合い	6名	内部
12月15日	権利擁護研修会	1名	外部
12月22日	権利擁護と成年後見制度について	6名	内部
1月11日	新型コロナウイルス感染者発生に伴う今後の感染改善対策について	7名	内部
2月14日	感染症対策について	7名	内部
3月6日	高齢者虐待防止法について	9名	内部
3月10日	職場でのハラスメントの防止に向けて	9名	内部

(5) ボランティア等受入れ状況

新型コロナウイルス感染症対策の為なし。

デイサービスセンターうたつ利用者			デイサービスセンターいりや利用者		
介護度	延人数		介護度	延人数	
	4年度	3年度		4年度	3年度
要介護1	993	915	要介護1	2,236	1,902
要介護2	1,532	1,303	要介護2	1,427	1,240
要介護3	1,018	1,260	要介護3	406	400
要介護4	233	140	要介護4	233	674
要介護5	32	80	要介護5	3	11
要支援1	265	279	要支援1	156	138
要支援2	235	157	要支援2	0	1
事業対象者	0	47	事業対象者	59	89
合計	4,308	4,181	合計	4,520	4,455

デイサービスセンターとぐら利用者			デイサービスセンターしづがわ利用者		
介護度	延人数		介護度	延人数	
	4年度	3年度		4年度	3年度
要介護1	448	613	要介護1	1,443	1,273
要介護2	569	869	要介護2	960	851
要介護3	360	469	要介護3	771	471
要介護4	244	167	要介護4	143	238
要介護5	43	14	要介護5	0	44
要支援1	80	75	要支援1	129	54
要支援2	65	32	要支援2	401	411
事業対象者	44	32	事業対象者	63	106
合計	1,853	2,271	合計	3,910	3,448

※全事業所、感染予防対策を徹底し、コロナ禍においても安心して利用できる施設づくりに努めた。

感染予防対策として、職員の朝の体調確認・検査キットでの抗原検査・検温から始まり、送迎時は車輦内の換気、利用者の体調確認・検温・マスクの着用・消毒等、送迎後は車輦内のアルコール消毒の徹底、定期的に室内の換気を行い、手指消毒・マスクの着用の声掛け、手の触れる部分の消毒等こまめに行った。休息後枕カバーの交換を毎日行い、寝具を消毒し定期的にシーツ類の交換を行った。

3-3 在宅福祉事業 介護福祉課居宅介護支援事業

南三陸居宅介護支援センター

(1) 事業全体評価

その人の有する能力を最大限に生かし住み慣れた地域でその人らしい暮らしを継続出来るようケアマネジメントを実施。医療機関や介護サービス事業者等の多職種連携に努め、関係機関との横の繋がり、信頼関係が更に強化できた。

24時間365日の連絡体制継続及び職員間の密な情報共有により、事業所全体で利用者の暮らしを支える体制に臨めた。

地域包括支援センター等他職種連携を密に行い、中重度や複雑な問題を抱えた利用者への積極的な対応を実施、総合且つ効果的なサービス提供で一定の方向性や解決につながる道筋が見えるまで丁寧な支援ができた。

(2) 取組み状況

① サービス向上

特定事業所加算算定事業所として法令を遵守し、利用者の多様化するニーズに応えるよう、情報共有やカンファレンスを定期的（週1以上）に行い、事業所全体でケースのケアへの取り組みを実施、チームケアの意識を徹底した。

② 接遇

コロナ感染対策を徹底し、介護を必要とする方が円滑にサービスを利用出来るよう、誰にでもわかりやすいケアマネジメントを実践。傾聴と説明責任、速やかな調整を心がけ、利用者や家族との信頼関係の構築に努めた。

地域交流会等への参加を通し、利用者が住む地域性や世話役と顔の見える関係を深め、利用者と地域との繋がりを大切にしながら、その人らしい生活が継続できるようにケアプランへの位置づけの一助に繋げた。

③ 業務改善

外部研修実施は順延とし、内部研修の充実体制を図る。（下記通り）

事例検討会やケアプラン自主点検等を定期的に開催し、自己評価や客観的評価、助言により、多角的な視点でケアマネジメントに臨めるよう個々の人材育成、資質向上に努めた。

(3) 研修実施状況

月 日	研修内容（内部・社協全体研修）	参加人数	
4月20日	社協が目指すもの／三浦事務局長	4人	内部
4月18日・25日 5月2日	適切なケアマネジメント手法の把握 （オンライン研修）	4名	内部
5月10日	サービス選定に関わる説明責任と提供手法、資料統一化	4名	内部
5月18日	社会資源／社協コーディネーター	4人	内部
6月13日	他法人合同スキルアップ研修	5名	内部
6月16日	感染症対策1／感染症認定看護師・座間由美子	4人	内部

7月4日	局長との座談会（ケアマネジャーの役割・立ち位置）	5名	内部
7月11日	事例検討会（課長参加）	5名	内部
7月14日	感染症対策2／感染症認定看護師・座間由美子	3人	内部
7月19日	災害時支援者リストの作成と実際の活用、避難経路確認	4名	内部
8月17日	処遇困難事例対応共有（精神保健福祉法第23条）	4名	内部
9月12日	ケアプラン点検	4名	内部
①9月27日 ②10月24日	市町村社協管理監督職員スキルアップ研修会 （オンライン研修：管理者参加）	1名	内部
10.11月	地域自主活動グループ交流会（地域交流4カ所）	4名	内部
10月17日	BCPについて	4名	内部
11月11日	医療講演会／オンライン研修（神経難病の方を支える支援者の一人としてその特徴やセルフマネジメントについて学ぶ）	3名	内部
12月5日	処遇困難事例共有・まもり一歩の活用について	4名	内部
12月15日	権利擁護研修（包括主催） 一人暮らしや身寄りのない人を支える制度について	3人	内部
1月10日	宮城県版アセスメントシートの活用他 ケアマネジメントに関する一連手順再確認	4名	内部
3月8日	福祉用具勉強会（オンライン研修）	4名	内部

（４）実習（研修）生等受入れ状況

期 間	研修名	人 数
R5/2/2 ～ 2/7 (3日間)	介護支援専門員実務研修実習受入 (指導／主任介護支援専門員)	1名

（５）事業実績【居宅介護支援費Ⅰ】

介護度及び単価	件 数	
	4年度	3年度
介護1～2 @10,760円	852件	876件
介護3～5 @13,980円	414件	397件
月遅れ分	6件	13件
初回加算 @3,000円	40件	36件
入院時情報連携加算Ⅰ @2,000円	34件	26件
入院時情報連携加算Ⅱ @1,000円	2件	8件
退院・退所加算（連携Ⅰ～連携Ⅲ） @4,500円～@9,000円（5段階あり）	6件	4件
通院時情報連携加算 @500円	10件	8件
ターミナルケアマネジメント加算 @4,000円	0件	0件
特定事業所加算（Ⅱ） @4,070円	1,272件	1,286件

3-3 在宅福祉事業 介護福祉課訪問介護事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（訪問介護・第1号通所事業）

(1) 事業全体評価

常に職員間でコミュニケーションを図りながら、チームワークを大切にサービス提供に努めた。

関係機関との連携を図った。

(2) 取組み状況

①サービス向上

研修参加後、再度職員での振り返りを実施したことにより、サービス提供等に研修内容を活かすことができた。

②接遇

利用者、ご家族の状況を踏まえながら傾聴することができた。

③業務改善

効率よく業務が遂行出来るよう書類整理や記入方法の見直しを図ったが改善には至らず、引き続き見直しが必要となる。

(3) 研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数	
4月28日～29日	社協が目指すもの・方向性・チームワークについて	5人	内部
6月25日～7月28日	感染症対策の基本と対策(社協全体研修をもとに研修)	5人	内部
8月18日～31日	認知症について	4人	内部
9月27日	令和4年度社会福祉協議会管理監督院 第1回研修会（オンライン）	1人	外部
10月24日	令和4年度社会福祉協議会管理監督院 第2回研修会（オンライン）	1人	外部
12月2日	令和4年度保健・医療・福祉の支援者向け 「精神疾患を学ぶ」	2人	外部
12月9日～14日	精神科医療機関から地域生活へ	5人	内部
12月15日	令和4年度権利擁護研修会	1人	外部
1月16日 2月19日	障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応 (身体拘束含む)	1人	外部
3月4日～16日	高齢者虐待について	5人	内部
3月4日～16日	ハラスメントについて	5人	内部
3月4日～16日	障害者福祉施設等における 障害者虐待の防止と対応外部研修をもとに研修	5人	内部
3月25日～30日	カンファレンス	5人	内部
3月28日～29日	緊急時におけるのシミュレーションについて	5人	内部

(4) 実習（研修）生等受入れ状況

コロナ禍によりなし

(5) 利用実績

介護度	延人数		介護度	延人数	
	4年度	3年度		4年度	3年度
要支援1	27	16	要介護3	1,525	1,758
要支援2	0	66	要介護4	266	573
要介護1	541	488	要介護5	370	499
要介護2	605	412	合計	3,334	3,812

3-4 障害福祉サービス事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（居宅介護・重度訪問介護）

コロナ感染拡大により3か月に1回の保健師等との会議は実施せずに毎月のモニタリングを提出、必要時連絡や報告、担当者会議等で利用者の情報を共有した。

《利用実績》

障害区分	延人数	
	4年度	3年度
知的障害	92	88
精神障害	166	169
合計	258	257

3-5 訪問介護事業介護保険外サービス事業

体調確認、状態の観察、おむつ交換、皮膚状態の観察、排泄（尿量、尿色、排便量等）の確認。ドライシャンプー、部分清拭、更衣、ポジショニング、室内換気水分の声掛け等実施。必要時、ご家族、相談支援センターへの報告。

※4年度利用はなし。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、
事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会